



再建への新しい出発

関西大学体育OB会

会長 大島 鎌吉

この度レスリング部が創立30周年を迎えられる。心からおめでとうと申し上げます。と同時に、これを機会に、10数年前のオリンピック・東京大会の頃のあの隆盛を、再びとり戻して頂きたいと願ってやみません。勿論目の前には困難が幾つか待ち構えています。だが、目的に向かって勇敢にそれを突破することは、意味のある仕事ではないでしょうか。

さて、レスリングは男の戦いです。勝利に向かって精根の限りをつくす、ひた向きな激突は、人間の本質をそのまま、体験の領域を拡めて自己の開発に大いに役立ってくれるでしょう。現代社会が時流的にもつ欠落を自ら克服するという場は、あたりを眺めてもそんなにたくさんあるわけではありません。古代のオリンピックが、神に人間の最高最善のものを献げるため、レスリングを選び、これを競技の中心に位置づけたことも理由のないことではありません。

本学も日本レスリングの発展のため歴史的な役割りを果たしてきました。第17回オリンピック・ローマ大会ではグレコローマンスタイルに市口政光（バンタム級）、重岡完治（ヘビー級）の両君を送りました。次いで4年後の東京大会では市口君が見事金メダルに輝きました。この功績は永遠に日本スポーツ史に刻みこまれることになりました。

とは云え、歴史とか伝統は、その後続く人々が安易に座して守れるものではありません。守るためには何よりも常に創る努力が求められています。古代文明の滅亡史が、いみじくもこのことを教えています。

こんなわけで、変転する時代の流れを踏まえて、先輩現役が一団となり、精神的基調をささえ、青年学徒がその青春を打ちこめる環境をつくるよう努力をされんことをお願いします。